

平成 29 年度事務局研修会開催

10 月 27 日 京都で 全国から 68 名参加

全海運は 10 月 27 日(金)、京都の ANA クラウンプラザホテル京都で、平成 29 年度事務局研修会を開催した。今回は昨年が続いての京都開催で松崎誠一・国土交通省海事局内航課内航海運効率化対策官を講師に招き、藤井肇会長、担当の寺岡洋一副会長（総務委員長）の他、所用で欠席した岡田俊夫副会長を除いて原田勝弘、藏本由紀夫両副会長が揃って出席。全国から組合事務局員 68 名が参加して盛況を納めることができた。



広い研修会会場を埋めつくした参加者
(下段左から) 松崎氏、藤井会長と寺岡、原田、藏本 3 副会長

全海運事務局の (上段左から) 中島専務理事、米山次長、高田総務課長、高橋業務課長、山田顧問、荒木事務局職員

「内航未来創造プランについて」と題した講演会では松崎氏から、①内航海運の現状・課題 ②内航海運が中長期的に目指すべき方向性（将来像）③将来像実現のための具体的施策、などについての内容説明があった。講演後は、出席者から松崎氏との相当に踏み込んだ質疑応答と、年内に集約されることになっている全海運としてのポスト暫定措置事業に対する考え方について各地域、地区での意見集約状況の報告など、有意義で活発な議論が交わされた。

懇親会

